

更生保護施設における SST 研修会

1 日 時

令和6年9月5日（木）午前12時50分～同月6日（金）午後3時

2 場 所

アルカディア市ヶ谷7階「琴平の間ほか」（東京都千代田区九段北4-2-2）

3 研修員

更生保護施設の施設長又は補導職員・福祉職員 30名

4 主 催

更生保護法人 全国更生保護法人連盟

5 概 要

更生保護施設の被保護者には対人関係の改善を必要とする者が多く、SSTは被保護者の自立を促進するための有効な処遇技法の一つであるところ、令和5年度から実施された特定補導の内容としても「C群」に位置付けられている。本研修においては、更生保護施設の補導職員を対象として、SSTに関する基礎的な知識及び技術等を習得させることにより、もって更生保護施設における処遇の充実を図ることを目的としている。

最初に、主催者である全国更生保護法人連盟稲葉常務理事（事務局長）からあいさつ（右）があり、研修が始まった。

（講師）吉田みゆき：SST普及協会認定講師

河島京美：SST普及協会認定講師

清水有香：SST普及協会認定講師



【第1日目】

○全体研修〔琴平の間〕

*吉田先生の進行により研修が始まり、各講師の自己紹介の後、吉田先生から、研修資料『わかりやすいSST』を使用しながら、SSTという言葉の定義、SSTが普及した過程（行動の取り方や物事の考え方のプロセスを学びなおす⇒認知行動療法による支援）や矯正・更生保護分野での拡がり、SSTの構造（練習の場）、担当職員の仕事など「SSTの基本知識」について講義が行われ、ホワイトボードに掲示した“練習に役立つポスター”やDVD『更生保護施設における支援法』の個人・グループSSTを視聴しながら、SSTができる場（環境）作りに関する説明があった。研修員からSST体験談の発表やグループに分かれて“ほめる”練習後、3グループに分かれて会場を移動して研修・演習を行った。



吉田みゆき先生



全体研修①



全体研修②

○グループごとに研修・演習

(講師) : グループ 1 : 吉田みゆき先生、グループ 2 : 河島京美先生、グループ 3 : 清水有香先生が担当

* 研修生は各グループ(経験別)に分かれ、各講師から指導(自己紹介、SSTの基本理論や進め方、個人SSTの練習(2人一組の練習等))を受けた。各講師は、それぞれの特徴を生かしながら各研修生に寄り添い、ていねいに指導された。



グループ 1 (雲取)



グループ 2 (吉野)



グループ 3 (鳥海)

○全体研修 [琴平の間]

* グループごとの演習終了後、全体研修に戻って、各グループの代表者から演習の成果や感想等について発表が行われ、最後に吉田先生によるまとめ(事前アンケートの質問等に対する回答など)を行い、第1日目研修終了となった。



グループ 1 (発表)



グループ 2 (発表)



グループ 3 (発表)



←各グループの会場には、事前に研修生に依頼したSSTを導入している施設のパンフレットを参考までに掲示した。

【第2日目】

○午前中 : 全体研修 [琴平の間]

* 清水先生の進行で研修が開始され、初めに先生がリーダー役になって研修生に“あなたはどちら派”というグループ分けを提案し、海好き・山好きに別れるところからスタート、分かれたグループから選ばれた研修生がリーダーになって犬好き・猫好き等各自が各々移動するなど身体を動かすウォーミングアップを行い、全体が和やかな雰囲気になったところで、前日の3グループに分かれて、会場を移動して研修・演習を行った。

○午前・午後：グループごとに研修・演習

* 3グループに分かれて、行動リハーサルの手順など“練習に役立つポスター”を確認しながら個人SSTやグループSSTの練習を行ったり、認知行動療法に関する講義を受けた。また、研修生各自で課題等を出しながら、問題解決法や認知再構成法のアプローチを経験するなどグループ内で活発なトレーニングが進められ、適宜各講師からアドバイスを受けた。



グループ1（雲取）



グループ2（吉野）



グループ3（鳥海）

○グループ別研修終了後、会場を移動して全体研修を行い、吉田先生からSSTの進め方やアプローチの仕方、練習方法などまとめと講評があり、各講師からグループの代表者に修了証書が手交され、研修員から研修の感想等が述べられて、本研修は終了した。



修了証書授与（1G）



修了証書授与（2G）



修了証書授与（3G）

* 研修後のアンケートでは、多くの研修員から「面白かった、ためになる、仲間を感じた」などのほか「次回も楽しみ、満足、すぐにやれそう」と積極かつ肯定的な回答があったほか、「緊張した、疲れた」という演習に不慣れな人も見られた。また、「今後もSST研修に参加したい」、「他の職員にも参加させたい」という研修参加に前向きな回答があった。

SSTの実施に関しては、「寮生の自立に役立つと感じた」、「楽しみにしている寮生もいるため。役に立ったと言われた」、「寮生の日常で困っていること等手助けができる」等有用性や処遇効果に肯定的な意見があったり、「為になるから」、「入所者の更生に繋がると感じた」、「自立改善に有効だと思った」からSSTを積極的に実施したいという意見もあった。SSTを継続的に実施するために必要なことについては、「職員の熱意、知識や経験、意識の統一」等職員側の意識・姿勢を挙げる一方、「施設として指導や実施体制を整える」、「SSTができる職員を増やす」など

職員体制の充実等を求める意見があった。また、「対象者個々の特性をしっかりと見極める必要がある」、「当事者との信頼関係。自らが手本となるための情報を入手し、良いコミュニケーションを実践していくこと」、「寮生の立場に立ち、本音を聞くことに耳を傾けること」など日頃の寮生との関わりやアセスメントの大切さを指摘する意見も見られたほか、「ロールプレイなどを通して、しっかりとSSTへのイメージをつかむことができました。学んだことを活かして、施設でも更によりよいSSTを実施できるように頑張りたいです。」、「指導のベースとして有用ですので、応用力が必要かと思います。」、「込み入った話、センシティブな話は、グループより個人SSTの方が扱いやすいと思った。リアリティのある対応策を考える練習をするには、いろいろな情報を掘り下げる必要があるため、グループと個人の使い分けができると良いと思った」など処遇技法に関する感想や「他施設の方とも交流ができて、研修は、非常に有意義でした」等研修参加に対するに感謝の言葉も寄せられた。

令和6年度更生保護施設におけるSST研修会出席者名簿

番号	所管庁	更生保護施設名	役職	氏名	備考 (グループ)
1	旭川	旭川清和荘	補導主任	溝田 実	1
2	釧路	十勝自営会	補導員	小笠原 敬	2
3	青森	プラザあすなる	補導員	櫻田 正弘	3
4	山形	羽陽和光会	補導主任	原田 一	3
5	福島	至道会	補導主任	齋藤 哲哉	2
6	宇都宮	栃木明德会	薬物専門職員	宇賀神昌史	2
7	前橋	群馬県仏教保護会	補導員	長嶋 邦明	1
8	東京	日新協会	薬物専門職員	築地 球太	1
9	東京	鶴舞会	補導員	石井 良幸	3
10	東京	自愛会	補導員	山田 敏雄	2
11	新潟	新潟川岸寮	補導員	田中 洋志	1
12	長野	裾花寮	補導員	小林 政市	3
13	静岡	少年の家	補導主任	中本 忠孝	2
14	名古屋	岡崎自啓会	補導主任	蜂須賀 智	3
15	名古屋	東三更生保護会	補導員	井川 博之	2
16	京都	京都保護育成会	施設長	乗松 登	1
17	京都	西本願寺白光荘	補導員	平川 詩乃	1
18	大阪	和衷会	補導員	藤田 学	3

19	神戸	湊川寮	補導員	中作 吉雄	2
20	奈良	至徳会	福祉職員	加古 和広	1
21	和歌山	端正会	補導員	北山 隆雄	3
22	松江	しらふじ	福祉職員	土屋奈津子	2
23	広島	呉清明園	補導員	寺内 秀博	1
24	徳島	徳島自立会	会計職員	坪井 大輔	3
25	高知	高坂寮	補導主任	三角 道男	2
26	福岡	福岡弥生寮	補導員	平山 敏生	3
27	福岡	田川ふれ愛義塾	補導員	松永 久美	2
28	佐賀	佐賀県恒産会	補導員	江口 辰生	1
29	長崎	佐世保白雲	補導員	本木 和博	3
30	熊本	熊本自営会	補導主任	下城 久秀	1